

# 江別市の予算

【詳細】  
財政課 ☎ 381-1010



## 基本方針

令和8年度は、えべつ未来づくりビジョン（第7次江別市総合計画）の3年次目であり、引き続き、同計画に掲げる将来都市像「幸せが未来へつづくまち えべつ」を目指し、「いつまでも元気なまち」「みんなが支え合う安心なまち」「子どもの笑顔があふれるまち」「自然とともに生きるまち」「新しい時代に挑戦するまち」の5つの基本理念に基づき、予算を編成しました。

最大の課題である少子高齢・人口減少対策と、地域経済活性化のため、「えべつ未来戦略」と「江別市総合戦略」を中枢に据え、戦略に位置づける事業を重点的・集中的に進めます。

また、「一人にも企業にも選ばれるまち」を目指し、市長が示した8つの課題に対しても、引き続き積極的に取り組みます。

なお、市役所新庁舎については、実施設計が完了することから、計画どおり建設に着手します。

## 予算規模が拡大

歳入は、個人市民税や固定資産税の増加により市税の増加が見込まれるほか、地方交付税、地方消費税交付金、諸収入が増加しています。

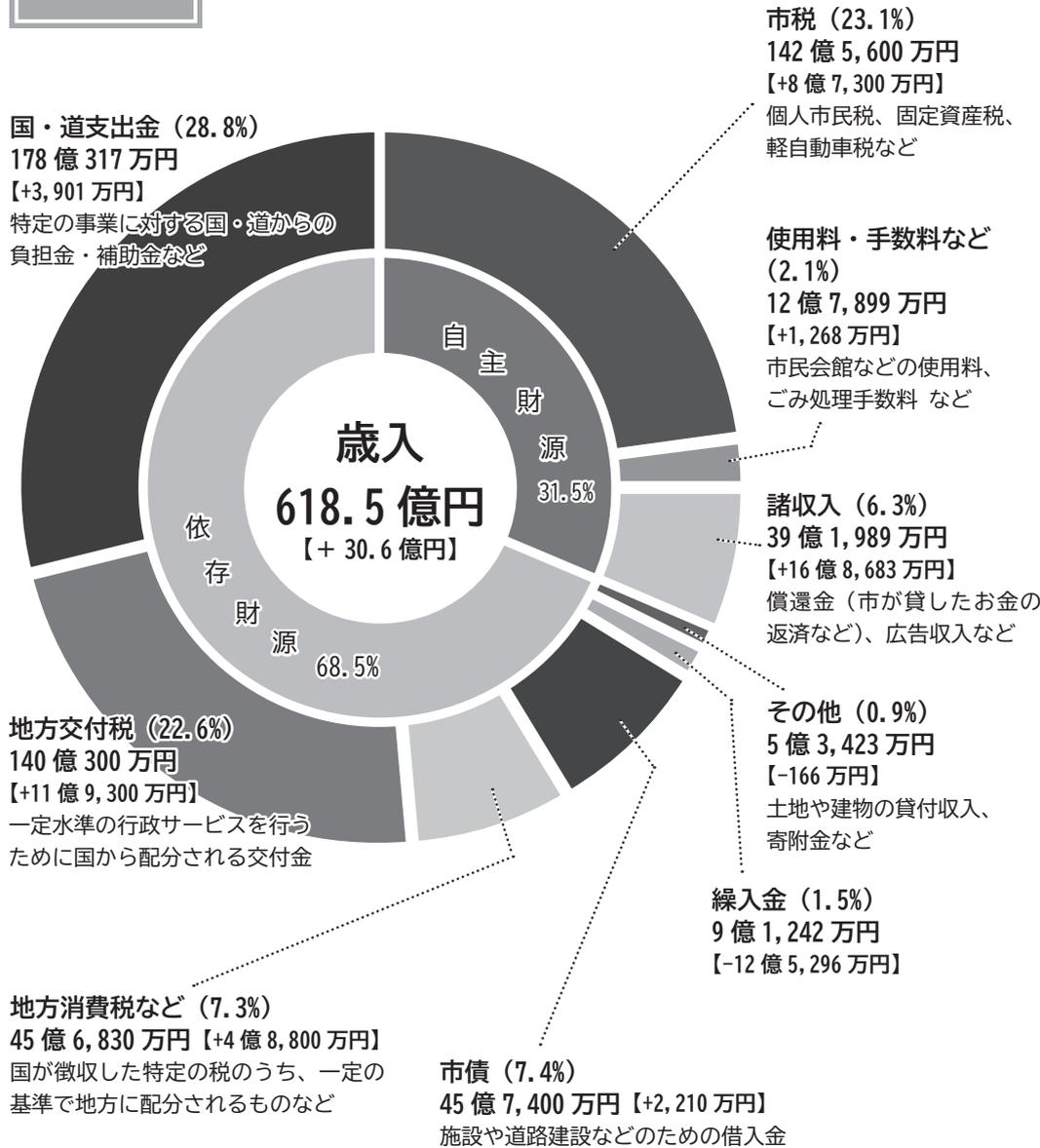
歳出は、新庁舎の建設開始、高齢化などによる社会保障費の増加、物価高騰、労務単価の上昇などにより、全体的に増加しています。

## 基金残高は増加の見込み

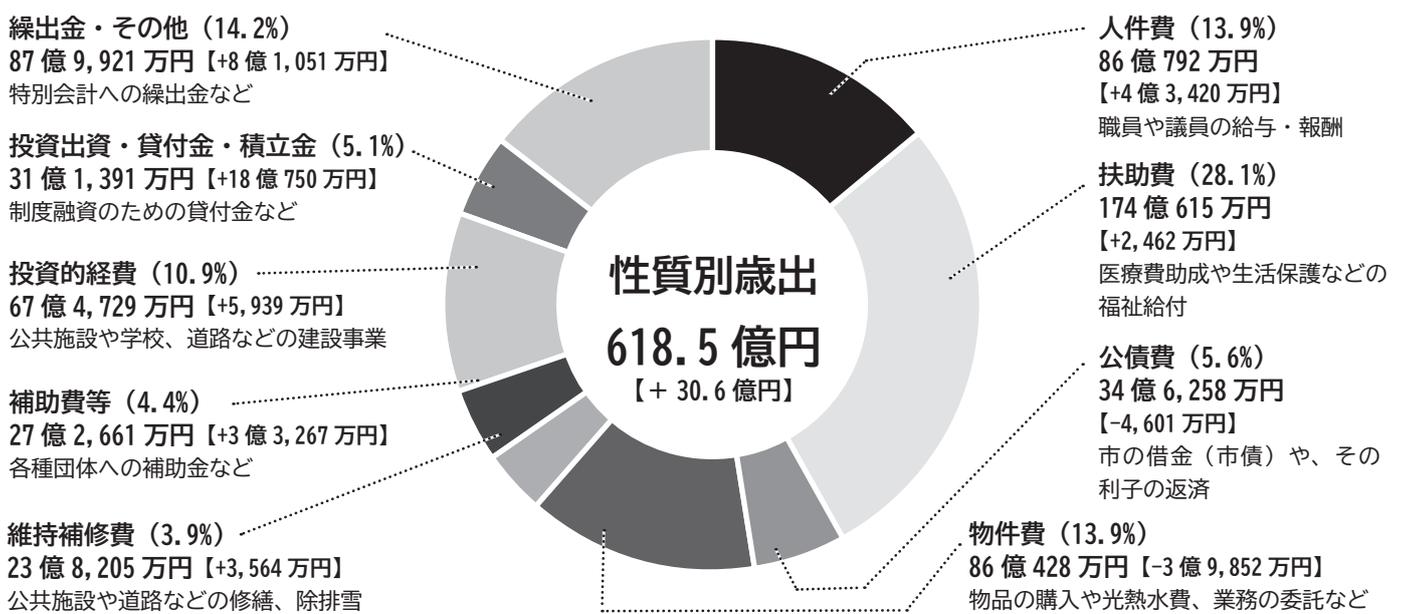
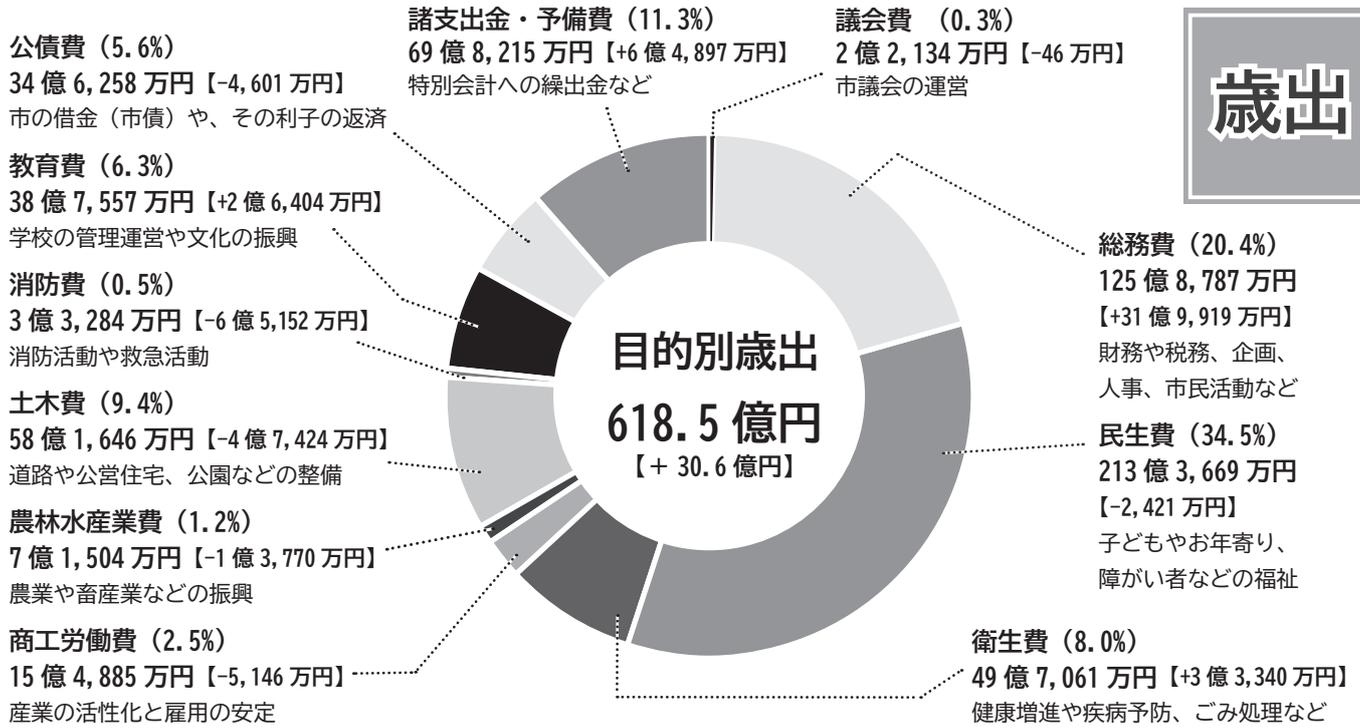
基金は、大型事業の実施、災害や不測の

## 歳入

【 】内は前年度比  
※1万円未満の金額を整理して記載しています



# 歳出



## 特別会計の予算

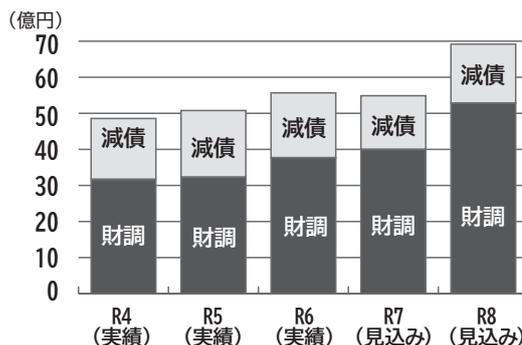
270 億 9,100 万円

(前年度比 5 億 4,700 万円増)

- ・国民健康保険特別会計  
…117 億 6,500 万円
- ・後期高齢者医療特別会計  
…25 億 9,000 万円
- ・介護保険特別会計  
…119 億 4,800 万円
- ・基本財産基金運用特別会計  
…7 億 8,800 万円

## 財政調整・減債基金の年度末残高の推移

財政調整基金は災害などに備える基金、減債基金は市債の返済に備える基金です。基金総額は近年増加しており、将来への備えが進んでいます。



事態への備えなど、目的を持って積み立て、活用しています。  
基金残高は、積み立て額が取り崩し額を上回るため、増加する見込みです。

# 主な事業

「絵で見る江別市予算案（えべつ未来戦略）」からピックアップした主な事業を紹介します。



## 戦略1 子どもが主役のまちをつくる



子育てひろば ぽこ あぽこ

- **保育人材等確保対策事業**  
保育従事者の養成や、保育士などの人材確保のための補助（3,278万円）
- **放課後児童クラブ運営費補助金**  
民間放課後児童クラブの運営費に係る補助（3億5,496万円）
- **地域子育て支援拠点事業**  
「子育てひろば ぽこ あぽこ」などの子育て支援拠点の運営（9,305万円）
- **不登校児童生徒支援事業**  
不登校の児童生徒の支援や、教育の機会と居場所の確保（2,744万円）

## 戦略2 幸せに歳を重ねられる暮らしをとどける



野菜摂取レベル測定器

- **健康づくり推進事業**  
生活習慣病の予防や、こころの健康づくりなど、地域の健康づくり活動の推進（717万円）
- **成人検診推進事業**  
がん検診などの受診勧奨、受診しやすい環境づくりの実施（9,100万円）
- **健康都市推進事業**  
野菜摂取量測定機器を活用した啓発など健康意識向上のための取り組み（196万円）
- **生涯活躍のまち推進事業**  
地域交流事業の実施や障がい者の就労環境の充実（752万円）

## 戦略3 みんなの働きがいと、元気な経済をつくる

- **企業立地等補助金**  
新規立地、増設などに対する補助金やサテライトオフィス設置推進補助金（4,785万円）
- **企業と人材のマッチング支援事業**  
まちなか仕事プラザの運営、求職者や事業者向けセミナーの開催、高校生と企業の体験型交流会の実施（1,651万円）

## 戦略4 地域から地球温暖化防止に挑む

- **脱炭素推進事業**  
太陽光発電設備と蓄電池を導入する市民への補助、啓発セミナーなどの実施（1,262万円）
- **環境教育等推進事業**  
えべつ環境広場や市民環境講座などによる環境保全への意識啓発（394万円）

## 戦略5 デジタル技術で住みよい明日を切りひらく



農業用ドローン

- **えべつデジタルマップ事業（道路台帳）**  
道路台帳図や地籍図をデジタル化し、インターネットで公開（1億9,621万円）
- **除排雪管理システム導入事業**  
除雪作業量などを自動計算するシステムの導入、大雪時の迅速な除排雪計画の構築、除雪路線の公表（5,734万円）
- **スマート農業機械導入促進事業**  
スマート農業機械を導入する市内農業者に対して補助金を交付（400万円）

# 市立病院

詳細 経営企画課

財務係  
☎ 382-5151



## 予算と前年度(決算見込)の比較増減

区分		R8年度	R7年度 (決算見込み)	比較増減
入院	収益	43.0億円	38.1億円	4.9億円
	患者数	79,205人	73,395人	5,810人
	1日平均患者数	217人	201人	16人
外来	収益	16.8億円	16.1億円	0.7億円
	患者数	132,791人	131,041人	1,750人
	1日平均患者数	551人	541人	10人
当年度純損益		-4.0億円	-5.0億円	1.0億円
一般会計繰入金		17.0億円	17.2億円	-0.2億円
一般会計長期借入金残高		0円	24.7億円	-24.7億円

令和7年度は、「江別市立病院経営強化プラン（令和6年度～10年度）」の2年目として、計画で掲げている「地域の医療をつなぎ、地域に密着した医療を提供し、地域の発展に貢献する病院」を実現するために、さまざまな取り組みを行いました。

また、「高度先進地域医療」（患者に寄り添う原点帰の医療とデジタル技術を駆使した高度な先進的医療の融合という考え方）の実現に向けて

令和8年度は、強化プラン見直し後の初年度となります。物価高騰や人件費の上昇など、医療を取り巻く環境は大きく変化していますが、地域に求められる、救急や手術などの急性期医療を提供するため、職員一丸となって医療の質と経営の質の両立を目指し、次の事項に取り組みます。

## 主な取り組み事項

### 1 「断らない医療」を実践し、地域の医療機関との連携のもと、市民に信頼される病院づくりを進める

- ・「断らない医療」を実践するための仕組みを構築し、紹介患者の受け入れを拡大
- ・効率的かつ機能的な体制を整備し、安定的な救急応需を継続
- ・「消化器病センター」の体制を強化し、消化器内科と外科の連携により、消化器系疾患の受け入れを積極的に推進
- ・新たな診療科の開設などにより、救急や手術などの地域の急性期医療体制を強化

### 2 入院：紹介患者受け入れ促進や診療単価増の取り組みによる収益最大化

- ・診療報酬制度に即した病床利用の最適化
- ・リハビリテーション介入の質と量の更なる向上
- ・産後ケア事業（日帰り型・宿泊型）の拡大

### 3 外来：医療資源の有効活用と外来機能の高度化と専門化

- ・「紹介受診重点医療機関」の指定を念頭に置いた、紹介患者の受け入れと逆紹介の推進
- ・「北海道がん診療連携指定病院」の指定を念頭に置いた緩和

ケアチームの運営

- ・医育大学との連携による認知症医療の更なる充実

### 4 健診センターの機能強化促進、予防医療の充実

- ・健診者へのサービス向上と収益増加に向けた、オプション検査の導入
- ・健診から外来受診（骨粗しょう症外来など）へつなげるための仕組みの更なる整備

### 5 広報活動の充実と地域関係機関との連携推進

- ・診療内容などを分かりやすく発信するためのHPや各種媒体の充実
- ・地域医療連携システムの接続医療機関の拡大に向けた取り組み
- ・可能な限り市内で完結できる医療体制の確立に向けて、「地域医療連携推進法人メディカルアライアンス江別」へ参画

### 6 高度先進地域医療の実現、医育大学との共同研究

- ・健診センターを拠点とした北海道大学呼吸器内科学教室および市内企業との共同研究への継続的参画
- ・「未来医療創造基金」への寄付などを通じた病院の魅力発信と支援者の受け皿作り

## 下水道事業会計

57億5,052万円（前年度比+1億9,066万円）

### 主な事業

- ・管路整備事業 1億5,154万円
- ・管路施設改築更新事業 4億5,792万円
- ・処理場・ポンプ場施設改築更新事業 8億2,825万円

## 水道事業会計

37億4,157万円（前年度比-3億3,955万円）

### 主な事業

- ・配水管整備事業 4億5,580万円
- ・配水施設整備事業 1,805万円
- ・浄水施設整備事業 1,359万円

令和8年度の上下水道事業は、上下水道ビジョンに基づき、老朽配水管の更新や耐震化、処理場・ポンプ場の設備更新などを行います。

詳細 水道部 総務課 財務係  
☎ 385-1214

# 上下水道